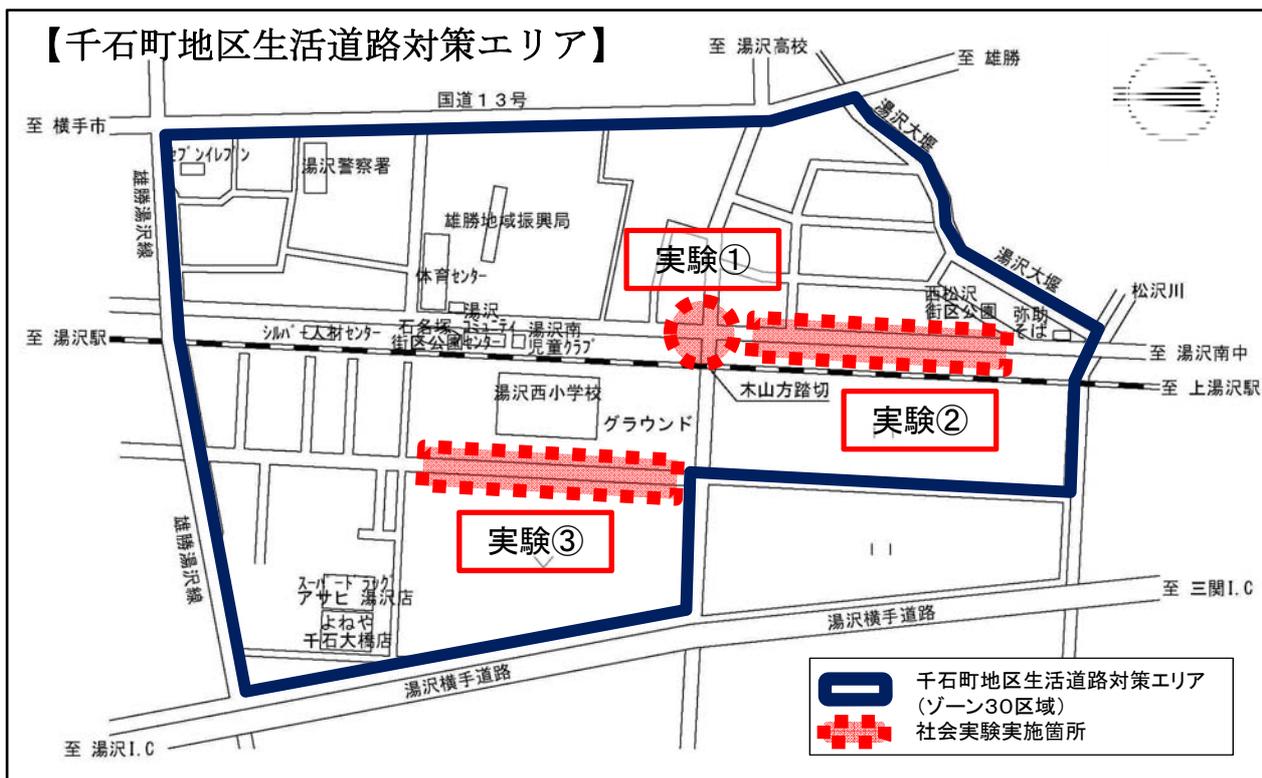


通学路安全対策として社会実験を実施します

(7月10日～) ※天候により開始日が変更となる場合があります

湯沢西小学校周辺のゾーン30区域を「千石町地区生活道路対策エリア」(下図太枠内)として国へ登録し、学校・地域、警察、国土交通省及び湯沢市を構成メンバーとして千石町地区生活道路交通安全対策協議会を設立し、この区域内の道路を生活道路として歩行者、自転車、自車が安全に通行できるように対策を行っていきます。

今年度は社会実験として、3つの対策を行いますのでご協力をお願いいたします。

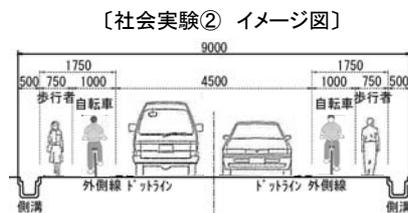


【社会実験①】 交差点カラー化(注意喚起)

木山方踏切付近の交差点(横断歩道含む)をカラー化することにより、注意走行が喚起されることで事故防止を図ります。

【社会実験②】 歩行者・自転車の安全な通行の確保

上記交差点から西松沢街区公園までの区間において、車道を狭くし、車の速度抑制を図るとともに道路両側に歩行者・自転車通路を確保することで安全性の向上を図ります。



【社会実験③】 狭さくによる速度抑制及び通過交通抑制対策

湯沢西小学校前の道路に狭さく(部分的に道路を狭くする)を設置することで、車の速度抑制及び通過交通の抑制を図ります。



【問合せ先】 千石町地区生活道路交通安全対策協議会
事務局 湯沢市建設部建設課土木班 TEL73-2111(内線415)